

【概要・目標】

慢性疾患を病む人々の発病から死に至る病みの軌跡の諸局面に対して、ヘルスケアシステムにおける支援能力と、患者と家族が慢性疾患とともに生活するための看護支援が提供できる看護実践活動能力を養う。また、慢性疾患患者が社会生活を送る上で、必要な地域社会での支援を得ることや調整する能力を養う。

【授業内容・スケジュール】

- 1) ガイダンス

- 2) ～20) 慢性疾患患者と家族は、患者のライフサイクルと疾患の特性や療養特性などが複雑に絡みあう病みの軌跡を辿っており、軌跡に応じて慢性疾患患者と家族に必要とされる援助も変化する。そのため、支援型患者教育から症状コントロール、資源コーディネート、さらにサポートモデルの構築まで、幅広く慢性疾患看護について教授する。

- 21) ～29) 慢性疾患と共に生きる人々が受けている日常生活の規制の実際について理解を深め、療養生活の再構築に向けての支援の仕方について演習を行う。

- 30) まとめ

【評価】

演習の取組と態度、レポートから評価する。

【テキスト】

【推薦参考図書】

演習の中で適宜紹介する。

【その他】